

ハローワーク鳥取 就職支援業務報告（令和2年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

新型コロナウイルスが蔓延する中、集合形式の各種事業開催が制限されながらも感染防止対策を徹底し、基本的な日常業務への取組の推進と各種事業の推進に取り組んだ。

そうした中で、コロナ禍においても人手不足感を抱いている企業がある点に着目した結果、継続事業である求職者担当制によるマッチング支援の強化及び求職者を対象としたセミナー開催等による意識向上にかかる支援を重点的に実施した。

求職者担当制においては、外出が困難な支援対象者に対して電話による職業相談、郵送紹介（いわゆる通信紹介）の手法も取り入れる等、継続相談につなげる取組を担当職員全員で行った。また、「伝達力向上セミナー」では、自己アピールの重要性を求人者目線の立場で助言することにより、コロナ禍においても積極的な意識を持った就職活動が展開できるよう取り組んだ。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

ZOOM機能を備えたタブレット端末を2台導入することにより、コロナ禍におけるリモート相談を希望する求職者に対応することが可能となった。ニーズとしては主に学卒求職者に活用が広がり、サービス向上につながった。今後も一般求職者も含めて継続していく予定であり、対面を伴わない相談スタイルについては今後も需要が高まっていくと予想している。

窓口カウンターに飛沫防止の亚克力板設置や来所者端末や座席の利用後の消毒、就職面接会の分散開催や通信紹介（電話相談、紹介状の郵送）の活用や日常の換気、手指消毒・マスク着用の励行等コロナ禍でも安心して利用できる窓口運営を心掛けた。特に障害者面接会は、分割することで就職実績が前年を上回るという効果も見られた。

所独自ツールである「求人・求職分析グラフツール」（グラフ作成）や、「求人チェッカー」（求人条件の確認）等を活用し、引き続き適正な求人受理と利用者へのサービス向上に努めた。

外国語（英語、中国語等）を話せるナビゲーターは配置しているものの、不在時等の対応として外国人の対応のための翻訳機を2台導入、本所と出先施設に1台ずつ設置した。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

コロナ禍で自粛していた取組については、今後は感染対策を万全に取った上で順次開催していく予定である。

求人者・求職者ともに就職マッチングを目的としたセミナー（「力」シリーズ）のうち、事業所の人事担当者向けの「採用力強化セミナー」を再開する。なお、参加求職者、企業ともにアンケートを取り、細かな求職者・求人者ニーズをそれぞれの次回セミナーに反映させ『サイクル型「力」セミナーシリーズ』に発展させる。

「ビデオセミナー」の中に労働基準監督署職員による労働基準法のセミナーの枠を設け、求職者向けの働き方改革推進のためのサービス向上を図る。

(4) その他業務運営についての分析等

平成31年1月に鳥取市と締結した「鳥取市雇用対策協定」に基づき、共同事業を展開する中で市との連携を強化することができた。

所内の取組同様コロナ禍で中止せざるを得ない取組があったものの、人材不足分野（福祉）・障害者面接会の共同開催等は計6回の実施に至り計24人が就職に結びついた。引き続き、事業の内容を広げながら管内住民サービスの強化や事業実績の向上を推進していくものとする。

2 総合評価 (※)

標準的な結果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

--

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	HWの紹介により、 正社員に結びつい た就職氷河期世代 の不安定就労者・ 無業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	生活保護受給者等 の就職件数	障害者の就職件数
実績	3,686	3,600	1,112	103.2%	183	9,046	1,578	175	299
目標	4,182	3,910	1,090	108.8%	297	9,559	1,623	208	290
目標達成率	88%	92%	102%	94%	61%	94%	97%	84%	103%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率